

「努力にまさる天才なし」

昔からよく言われてきた言葉です。いかなる天才も、どんなに才能があっても、努力する人にはかなわない、という意味で使われます。誰でも努力することが大切なことはわかっています。そして、多くの人がそれなりに努力します。でも、努力しなくてもいい環境になると努力しなくなります。そんなとき、努力しなければならない環境を自ら創り出して努力することをやめない人が、いわゆる「天才」(才能がずば抜けて高い人)といわれる人たちを超えていくのです。

東京オリンピックで競泳女子200mと400mの個人メドレーで金メダルを獲得した大橋悠依さんは大会1ヶ月前まで自己ベストより7秒も遅いタイムしかでず、「コーチから出場を辞退する道もあるぞ」と言われたそうです。その言葉を聞き、「これまで必死の練習を積み重ねてきた歳月が蘇ってきた。そして自分で選んだこの道でやり続けてきた努力や苦労を救ってやりたいという思いになった」とインタビューで答えていました。また、ロンドンオリンピックでボクシング・ミドル級日本人初の金メダリストになった村田諒太さんは、「妥協せず自分との戦いに勝利し、人より1%プラスした101%の努力をしていたから勝つことができた。努力したからといって必ず報われるわけじゃないけれど、努力しない限りは報われないし、努力は絶対に無駄にはならない」と話していました。やはり、きつい時やつらい時の「もうひと頑張り」がものすごく大事なことだということが、改めてわかりました。「コツコツ努力している人」を神様はちゃんと見ているんですね。

10/2(土) 熊本県中体連陸上競技大会主な結果

★女子

2年800m : 吉里紗和(8位) 代表110H : 田中文也(4位)
代表砲丸投 : 堀前美羽(6位) 1年100m : 西坂真翔(7位)
低学年リレー (9位) 代表走高跳 : 前川楓稀(4位)

低学年リレー (9位)

三中からは、玉名荒尾で一番多い総勢22名の参加でした。県大会でも自己ベストを目指し、玉名荒尾の代表として、精一杯頑張ってくれました。君たちは三中の誇りです！



10/20(水) 玉名荒尾中体連駅伝大会開催！

いよいよ今年最後の中体連大会である駅伝大会が玉名市横島町干拓コースで行われます。夏休みから結成した長距離メンバーは、どんなにつらくても三中のために練習を黙々と頑張ってくれました。「感謝」の言葉しかありません！

これまで練習してきたことを思い出し、一人一人が一本のたすきに思いを乗せて1秒でもはやく次の走者に繋ぎきり、自己ベスト、そしてチームの目標である県大会出場を勝ち取ってきてください。三中代表選手団を紹介します。

★女子

<3年> 宮本梨乎、一木優咲、飯川紗良、澤村葵
<2年> 北島優来、藤好心愛、松本りおな、大國結衣、吉里紗和、吉本李桜音
<1年> 田尻明、柿本和花

☆男子

<3年> 梅野隼翔、井形麗矢、大通翔、田中文也、永田優斗、中島健翔、
野田陽向、宮本公寛
<2年> 松田愛輝、藤木宏人、古川月唯、小柳颯太、前川晟真
<1年> 西坂真翔、昌谷渚、杉本夏樹、井形優斗、大通郁、福山煌ノ介、
村上奏斗、川辰そら

